

# 津波避難とくらしに関するアンケート 調査結果

徳島県危機管理部

平成30年7月9日（月）

# 1 調査概要

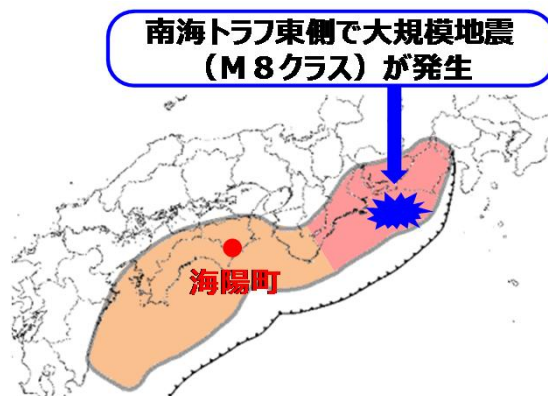
## ■ 調査概要

### 【目的】

- ・ 「南海トラフ地震に関連する情報」が発表された場合の住民のみなさんの避難行動や考え方の把握

### 【調査概要】

- ・ 海陽町にて2,000人を対象に実施
- ・ 5月23日～6月6日の間で実施
- ・ 回収数：1,141票（回収率：57.0%）



#### 【半割れ】

- ◆ 静岡県駿河湾で大規模地震（M8クラス）が発生（海陽町では）
  - ・ 震度4程度を記録
  - ・ 津波警報が発表
  - ・ 南海トラフ地震の可能性が相対的に高まっていると「南海トラフ地震に関連する情報」が発表 など



#### 【一部割れ（前震可能性地震）】

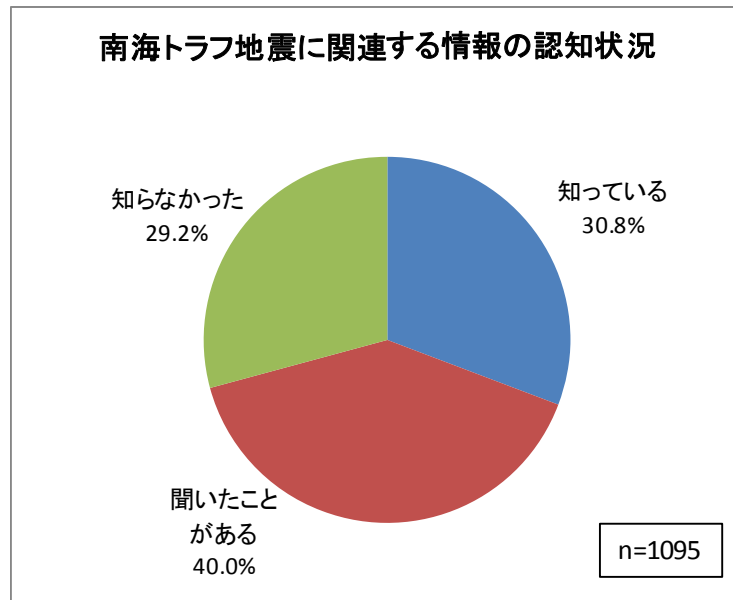
- ◆ 南海トラフで地震（M7クラス）が発生（海陽町では）
  - ・ 震度3程度を記録（被害なし）
  - ・ 津波注意報等は発表されていない
  - ・ 南海トラフ地震の可能性が相対的に高まっていると「南海トラフ地震に関連する情報」が発表 など

## 2 調査結果

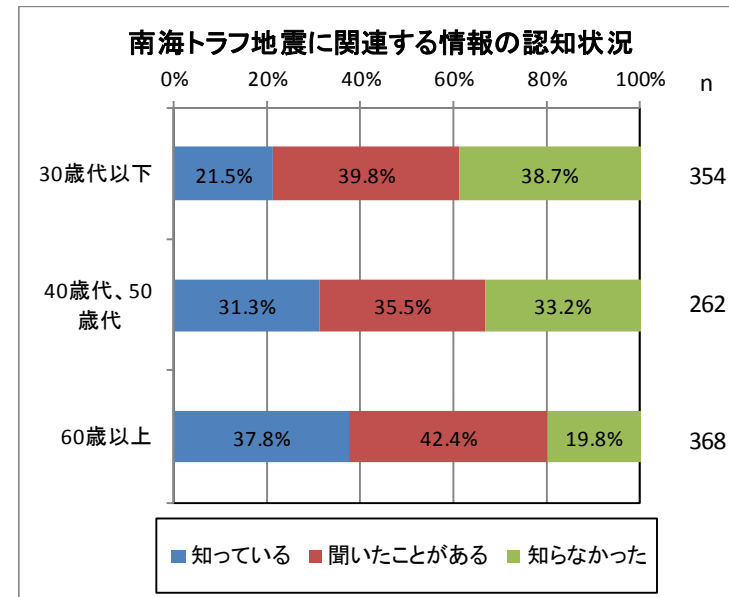
### ■ 「南海トラフ地震に関連する情報（臨時情報）」の認知状況

問 平成29年11月から運用が開始された「南海トラフ地震に関連する情報」を知っていましたか

【全体】



【年代別】



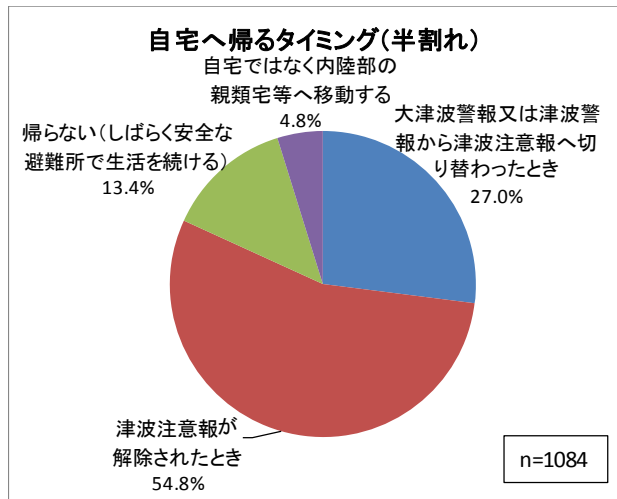
- ・ 「知っている」、「知らなかった」とも約3割
- ・ 若い年代では「知らなかった」と回答する比率が高い

## 2 調査結果

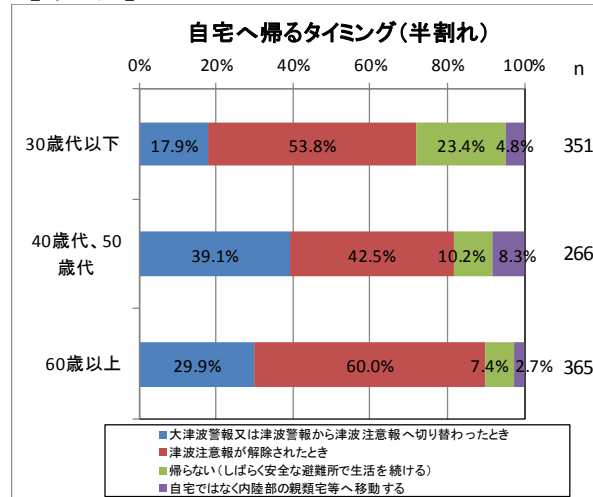
### ■ 半割れ（大規模地震）の際の行動

問 どのようなタイミングで自宅へ帰りますか

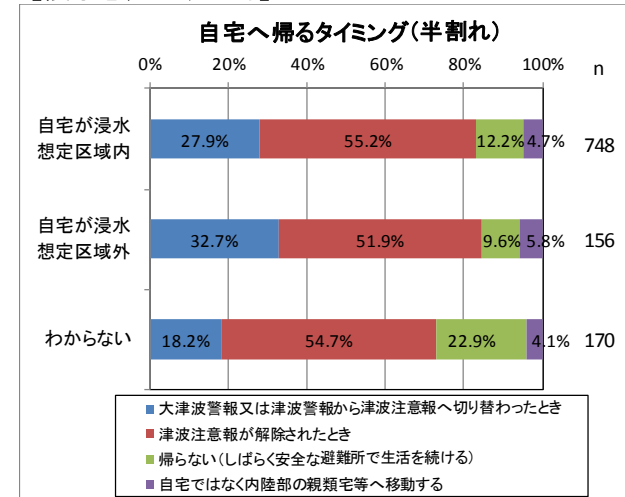
【全体】



【年代別】



【浸水想定区域内外】



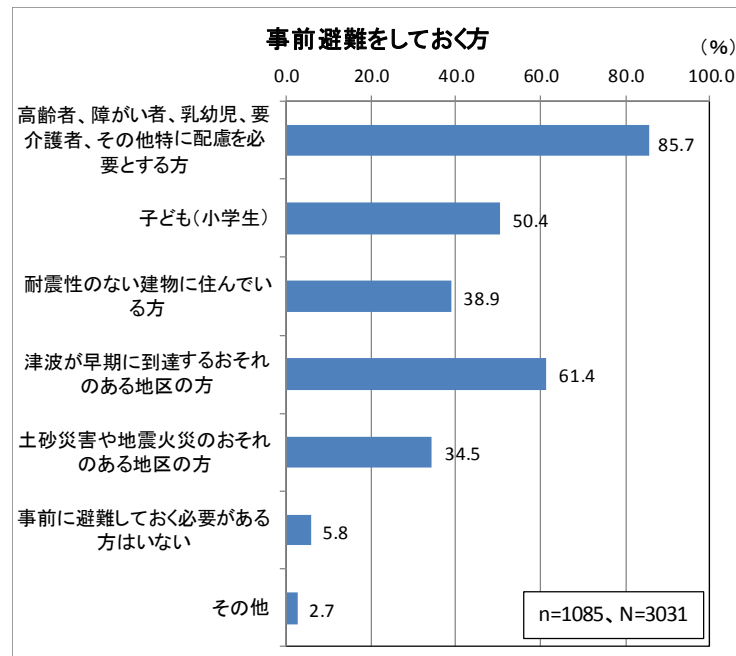
- ・ 大津波警報又は津波注意報が解除された際に、約8割の方が「自宅へ戻る」と回答
- ・ 60歳以上で「自宅へ戻る」が顕著
- ・ 自宅が浸水想定区域内と区域外による差は、ほとんどない

## 2 調査結果

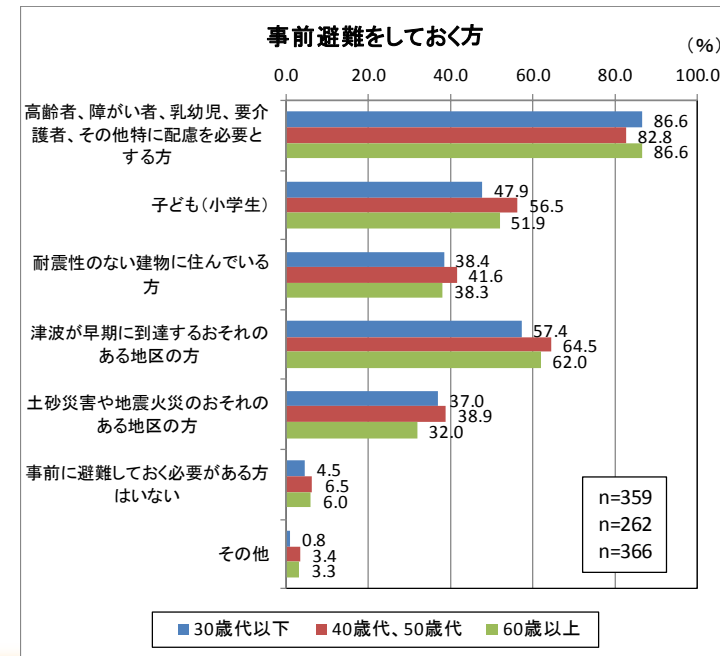
### ■ 一部割れ（前震可能性地震）の際の行動

問 どのような方が事前に避難しておくが良いと思いますか（複数選択可）

【全体】



【年代別】



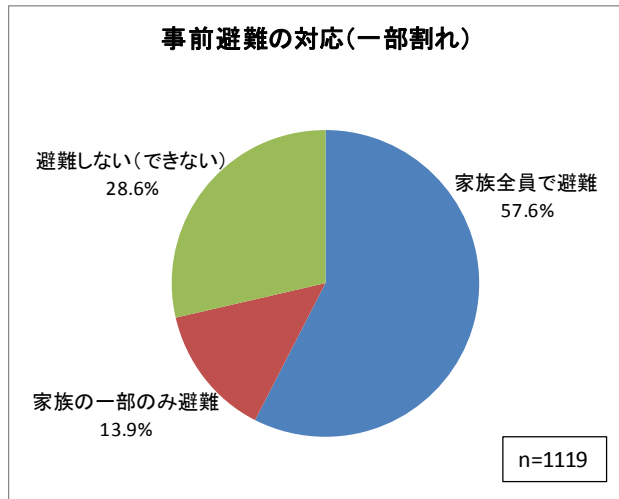
- ・ 「要配慮者」や「子ども」、また「津波が早期に到達する地区」の方は、事前に避難すべきという回答が多い
- ・ 「事前に避難しておく必要なし」の回答は僅か
- ・ 年代別での差は、ほとんどない

## 2 調査結果

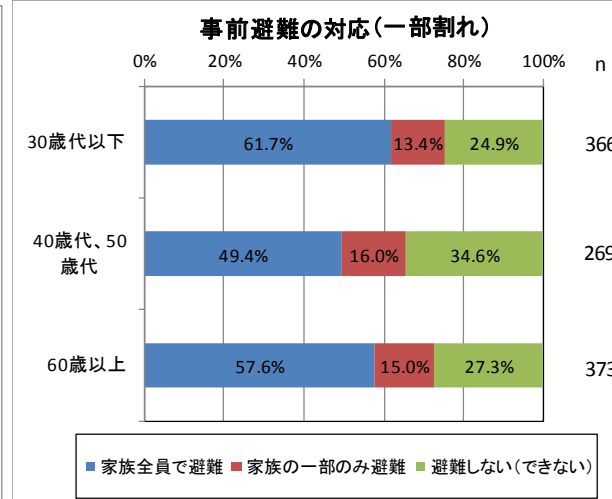
### ■ 一部割れ（前震可能性地震）の際の行動

問 あなたは事前に避難しますか

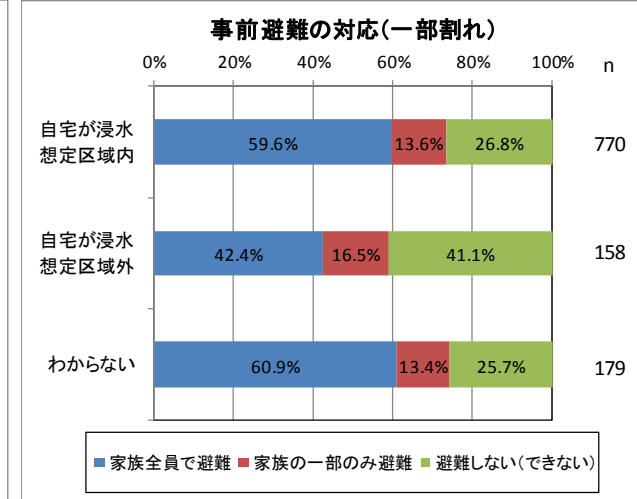
【全体】



【年代別】



【浸水想定区域内外】



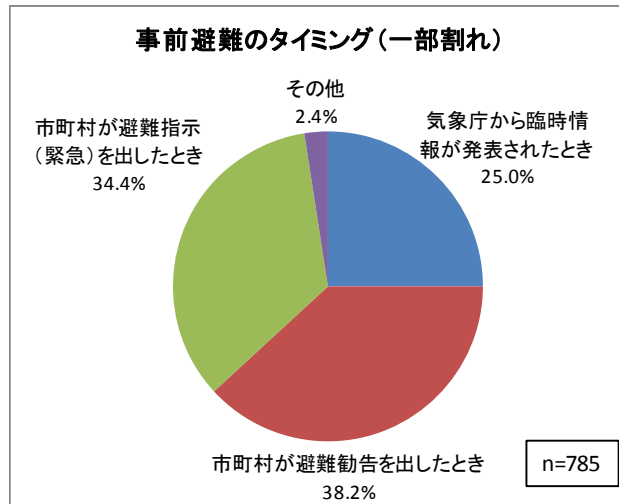
- ・ 約7割の方が「事前避難する」と回答
- ・ 「避難しない」の回答が最も多いのは40、50歳代
- ・ 「自宅が浸水想定区域外」の約4割が「避難しない（できない）」と回答、「区域内」と比較し約1.5倍

## 2 調査結果

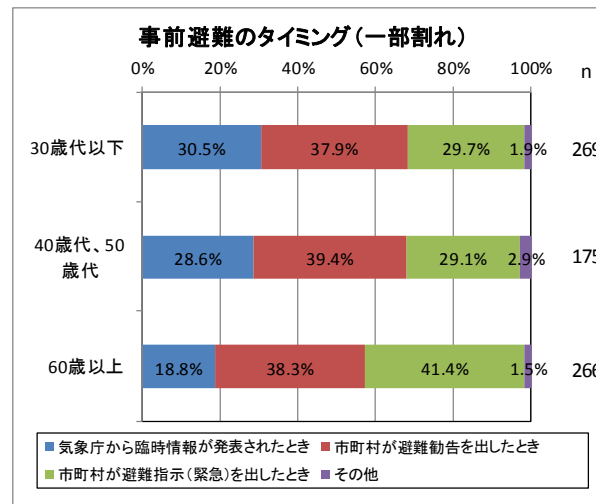
### ■ 一部割れ（前震可能性地震）の際の行動

問 どのタイミングで避難しますか

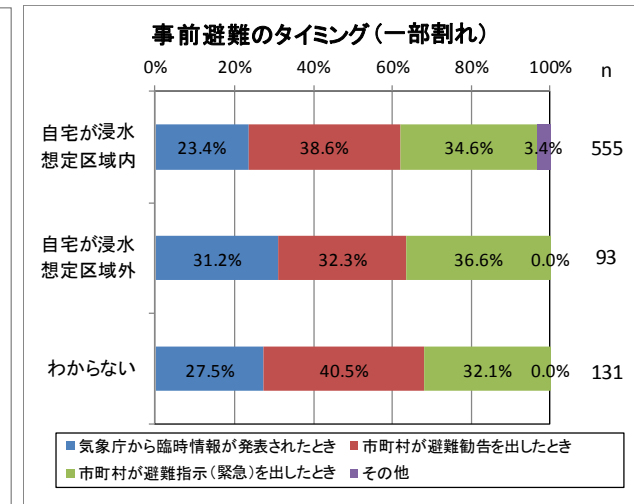
【全体】



【年代別】



【浸水想定区域内外】



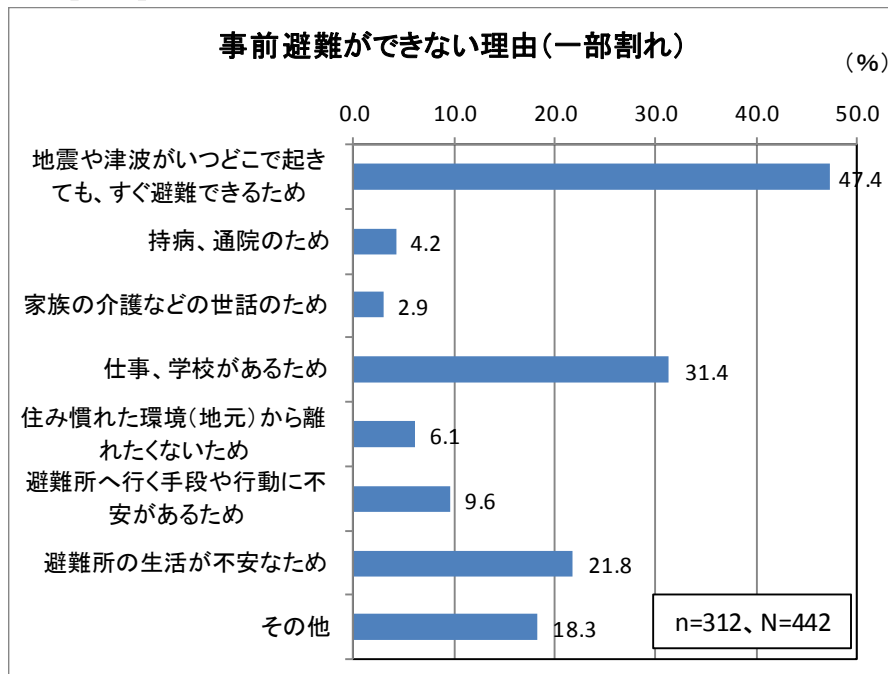
- ・ 「臨時情報」と回答したのは2割強、市町村からの「避難勧告・避難指示」を踏まえて避難を開始すると回答したのは約7割
- ・ 若い年代ほど、臨時情報により避難する割合が多い
- ・ 浸水想定区域内と区域外による差は、ほとんどない

## 2 調査結果

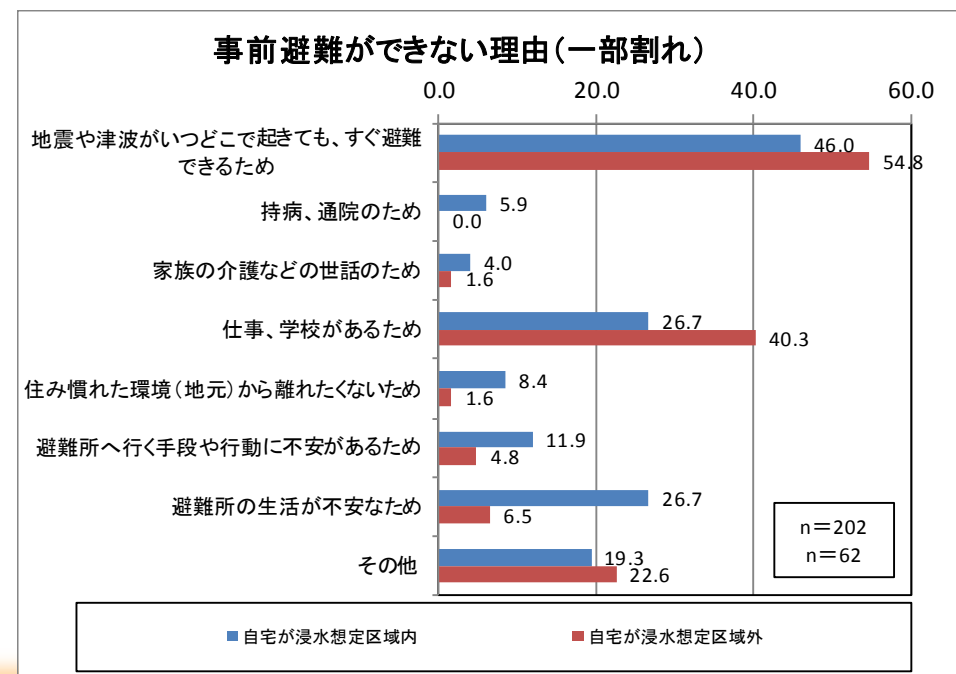
### ■ 一部割れ（前震可能性地震）の際の行動

問 事前避難をしない（できない）理由（複数選択可）

【全体】



【浸水想定内外】



- ・ 事前避難しない理由としては「すぐ避難できる」が最も多く、続いて「仕事、学校」や「避難所生活への不安」が多い
- ・ 浸水想定区域内の方は、区域外と比較し「避難所へ行く手段」や「避難所生活の不安」を理由にあげる割合が高い

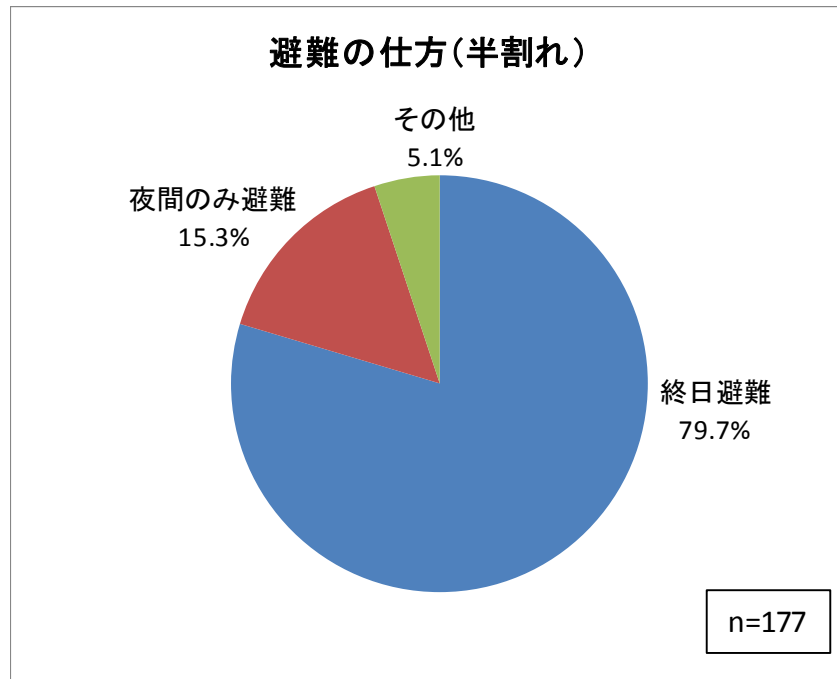


## 2 調査結果

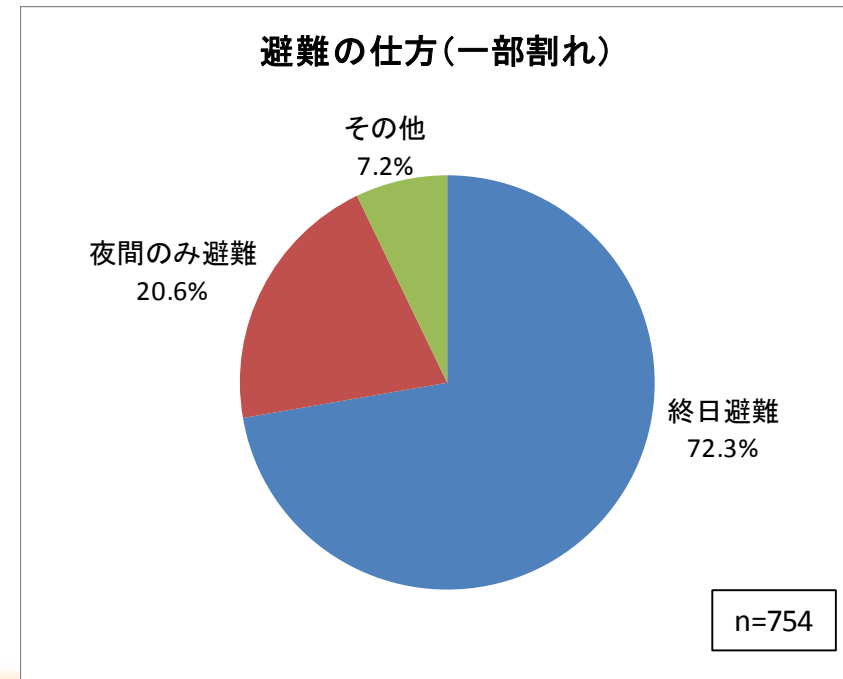
### ■ 避難の仕方

問 避難の仕方はどのようなものですか

【全体】



【全体】



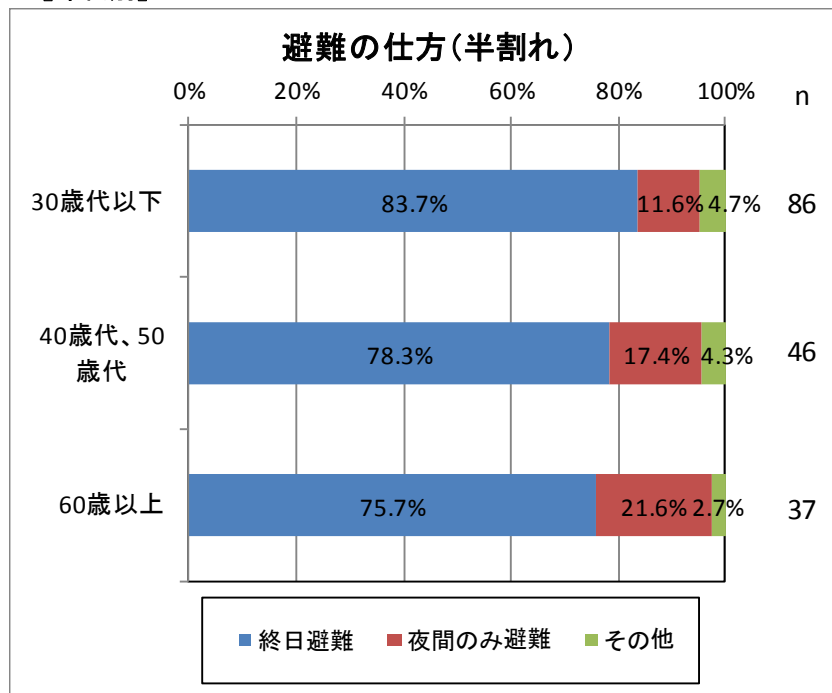
- 「半割れ」「一部割れ」とも「終日避難」との回答が多い
- 一方で、「夜間のみ避難」との回答が、約2割

## 2 調査結果

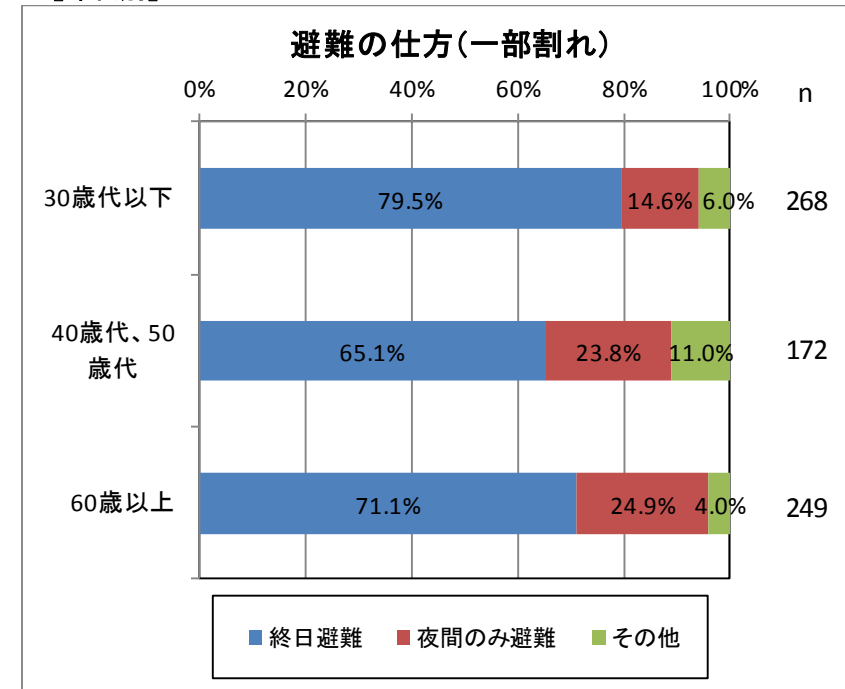
### ■ 避難の仕方

問 避難の仕方はどのようなものですか

【年代別】



【年代別】



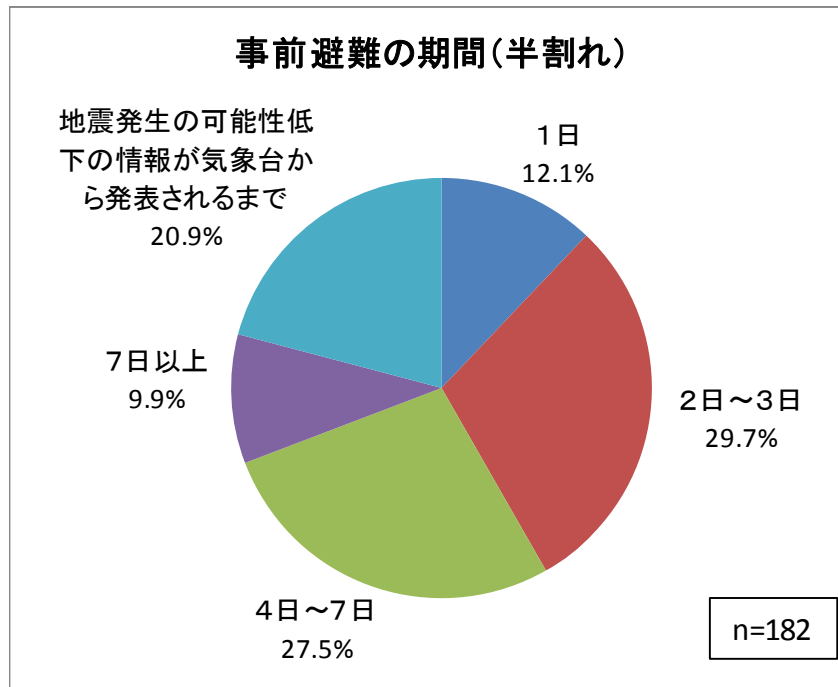
- 年代別に大きな差はないが、「半割れ」「一部割れ」とともに、年齢が高くなるにつれ、「夜間のみ避難」との回答が多い

## 2 調査結果

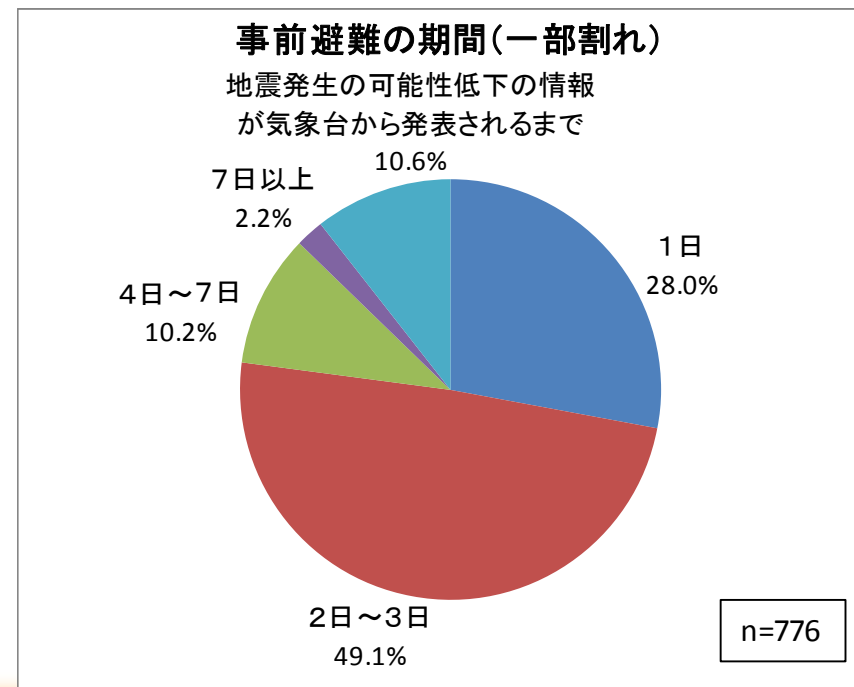
### ■ 避難生活の期間

問 自宅以外での避難生活を続ける期間

【全体】



【全体】



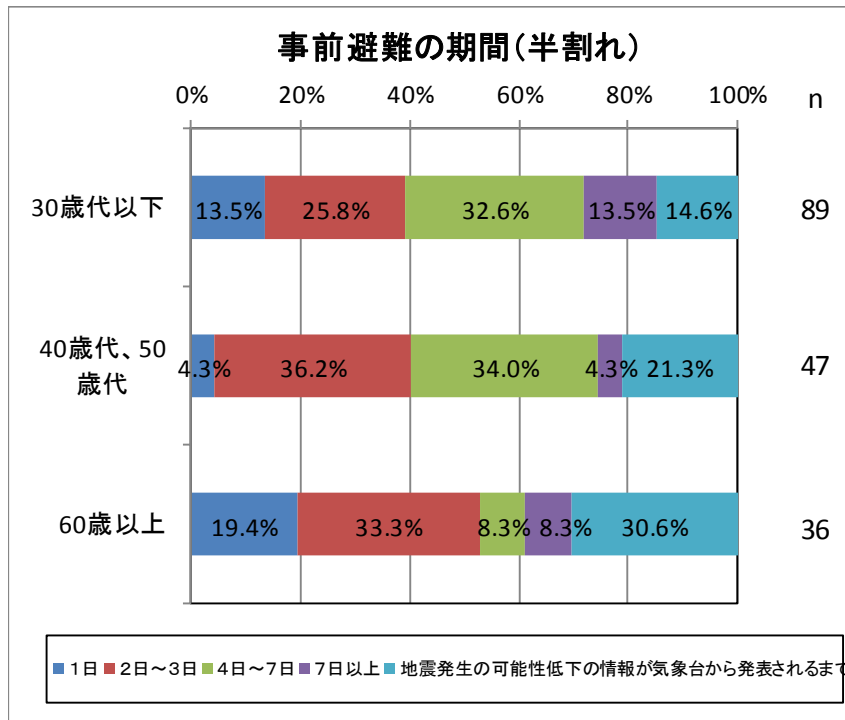
- 3日以内としたのは、「半割れ」で約4割、「一部割れ」で約8割
- 4日以上としたのは、「半割れ」で約4割、「一部割れ」で1割強
- 「半割れ」の方が「一部割れ」よりも、「臨時情報による判断」や「長期の避難生活」の割合が高い

## 2 調査結果

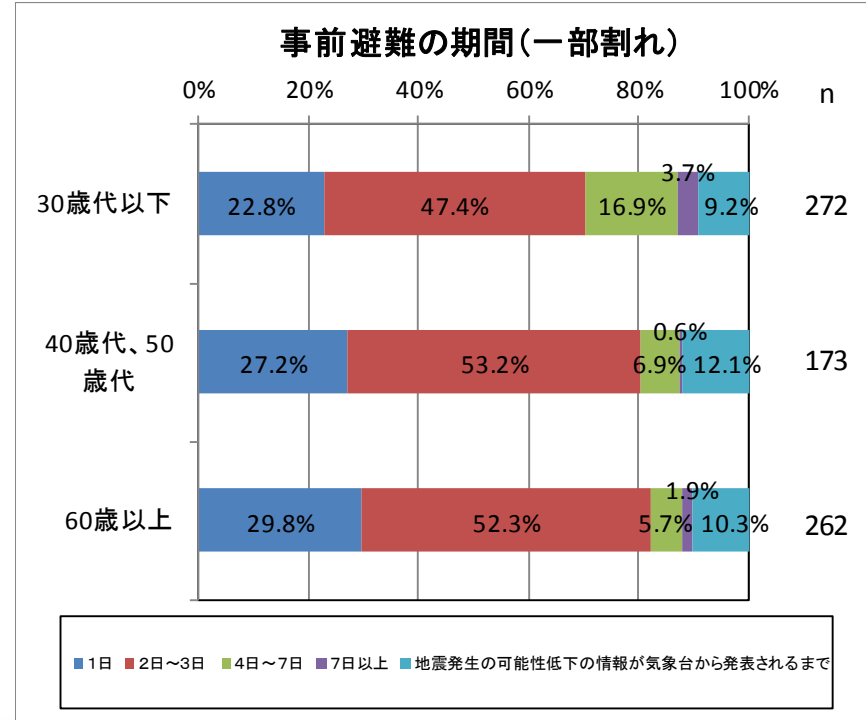
### ■ 避難生活の期間

問 自宅以外での避難生活を続ける期間

【年代別】



【年代別】



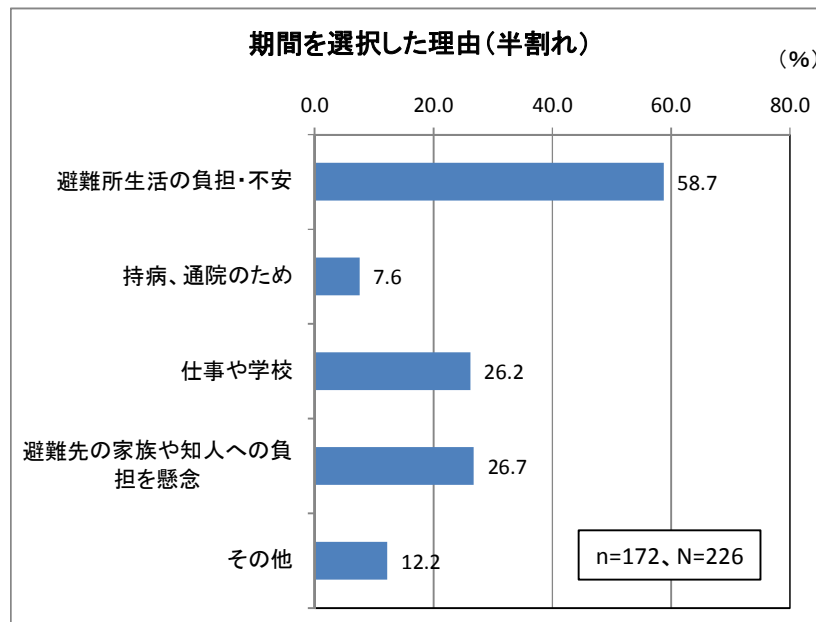
- 「半割れ」「一部割れ」とともに60歳以上で、3日以内の避難生活を選択する割合が高い

## 2 調査結果

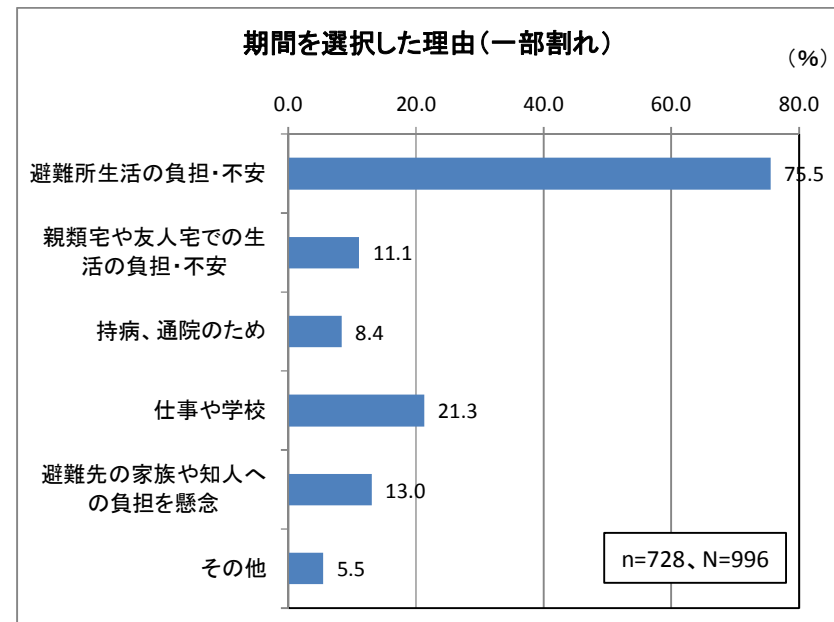
### ■ 避難生活の期間

問 自宅以外での避難生活を続ける期間を選んだ理由（複数選択可）

【全体】



【全体】



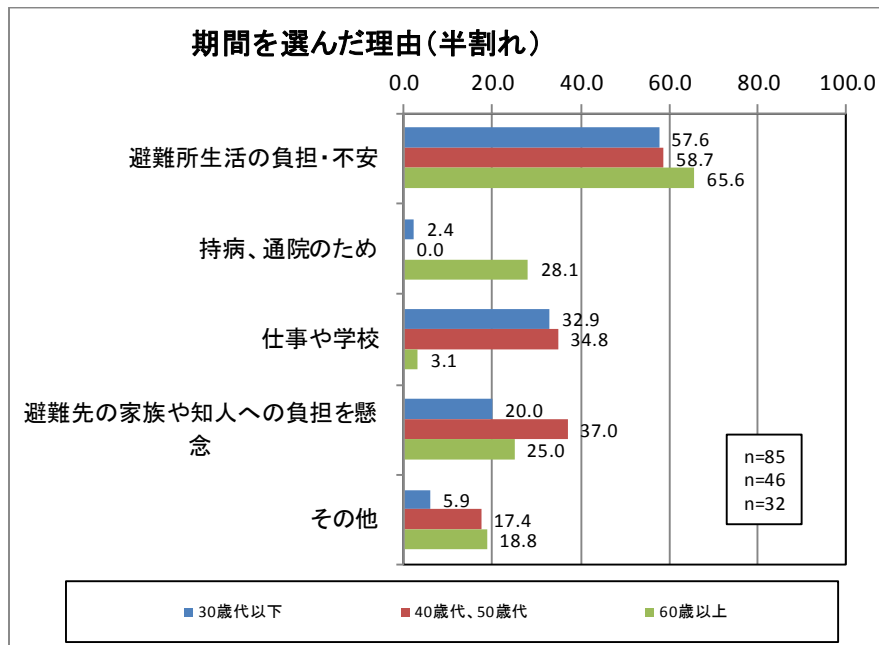
- 「半割れ」「一部割れ」とともに「避難所生活の負担・不安」や「仕事や学校」を理由とする回答が多い

## 2 調査結果

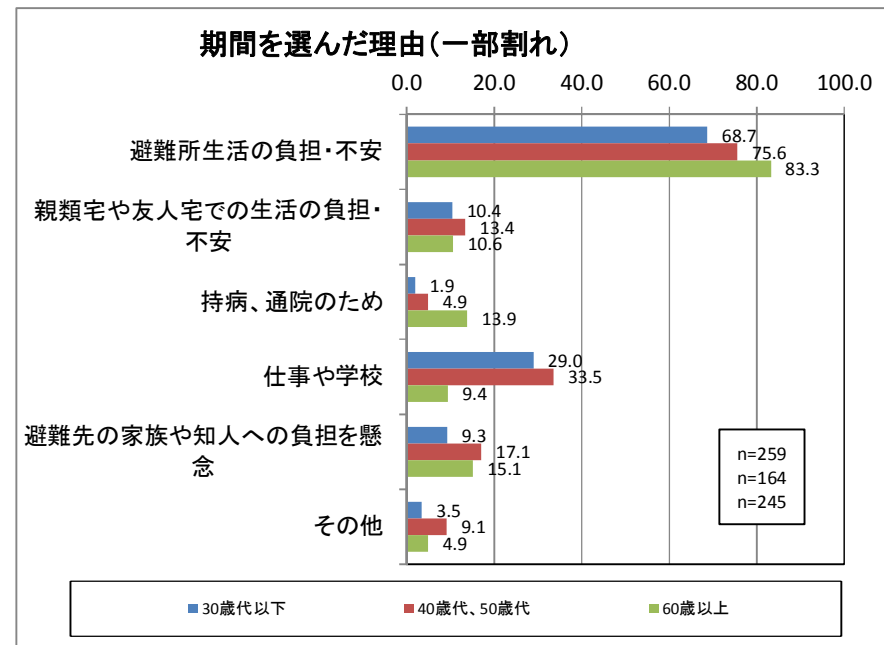
### ■ 避難生活の期間

問 自宅以外での避難生活を続ける期間を選んだ理由（複数選択可）

【年代別】



【年代別】



- 60歳以上で、「避難所生活の負担・不安」を理由とする回答が多い
- 50歳代以下で、「仕事や学校」を理由とする回答が多い

### 3 アンケート調査結果のまとめ

項目	結果
「臨時情報」の認知状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「臨時情報」を「知っている」と回答した割合は約3割。</li> </ul>
半割れ（大規模地震）の際の行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大津波警報又は津波注意報が解除された際に、「自宅へ戻る」との回答が約8割、「避難所で生活を続ける」との回答は1割程度。</li> <li>・60歳以上で「自宅へ戻る」が顕著。</li> <li>・浸水想定区域内と区域外で大きな違いはない。</li> </ul>
一部割れ（前震可能性地震）の際の行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前避難を行うことが望ましい対象は、「要配慮者」や「子供」、「津波が早期に到達するおそれのある地区」の方との回答が多い。</li> <li>・事前避難の対応を想定しているのは約7割。</li> <li>・事前避難の判断は、「臨時情報」と回答したのが2割強となっており、市町村からの避難勧告・避難指示を踏まえて行うとの回答が7割と多い。</li> <li>・事前避難しない理由としては、「すぐに避難できる」や「仕事・学校」、「避難所生活への不安」などがあがっている。</li> <li>・浸水想定区域内と区域外で大きな違いはない。</li> </ul>
避難所生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「半割れ」「一部割れ」とも「終日避難」の割合が多くなっており、「夜間のみ避難」の割合は2割程度。</li> <li>・「半割れ」の方が「一部割れ」よりも、「臨時情報による判断」や「長期の避難生活」の割合が高い。</li> <li>・高齢者層ほど、短期間の避難生活を選択。</li> <li>・期間の判断は、「避難所生活の負担・不安」や「仕事や学校」を理由。</li> </ul>